

こどもひかりプロジェクトの1年 2011

2011年度（平成23年度）事業報告書

2011年11月11日～2012年3月31日まで

2011年3月、東日本大震災が起きました。未曾有の災害を目の当たりにして、多くの人が、自分たちにできることは何だろうか、と問いました。こども☆ひかりプロジェクトは、ミュージアムの力を信じる有志の発案により、子どもたちのための活動を10年間続けようと、歩みをはじめました。



事業

主催事業はまだありませんが、連携事業をひとつ、実施することができました。

連携事業

みんなの福島展【協力】

福島の未来は日本の未来。福島を、子どもたちを、応援しよう！そんな趣旨で、展示企画が開催されました。

こどもひかりプロジェクトは、ふくしまのミュージアムの調整、「メッセージ交流ひろば」の企画運営、チラシデザインに協力しました。

「メッセージ交流広場」に寄せられたメッセージは、その後、郡山市ふれあい科学館スペースパーク、福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館で、展示されました。これらの館では、さらに、お礼のメッセージが寄せられ、兵庫県立人と自然の博物館で展示されました。

みんなの福島展

会期：2012年3月3日～4月8日

会場：兵庫県立人と自然の博物館

主催：兵庫県立人と自然の博物館

協力：シーアイエー(株)・(有)アイツアソシエイツ・こどもひかりプロジェクト

内容

1)「ビッグパレットふくしま避難所記」写真展

企画・製作：「ビッグパレットふくしま避難所記」刊行委員会

2)巡回パネル展「放射線とエネルギーの科学」
企画・製作：千葉市科学館、監修：独立法人放射線医学総合研究所

協力：日本科学未来館、共催：全国科学館連携協議会

3)ふくしまのミュージアムから

協力：アクアマリンふくしま・福島県立博物館・福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館・郡山市ふれあい科学館スペースパーク・ふくしま森の科学体験センタームシテックワールド・福島市古閑裕而記念館・いわき市立美術館

運営

プロジェクトの準備が始まったのは、2011年6月。呼びかけのしかたや趣旨書をつくり、関係者への呼びかけを始めました。2011年11月、団体「こどもひかりプロジェクト」の規約を施行。以後、オフィシャルサイトの開設、グループメールの開設など、少しずつ運営に必要なツールを整えていきました。

ロゴの誕生

(有)アイツアソシエイツ伊従

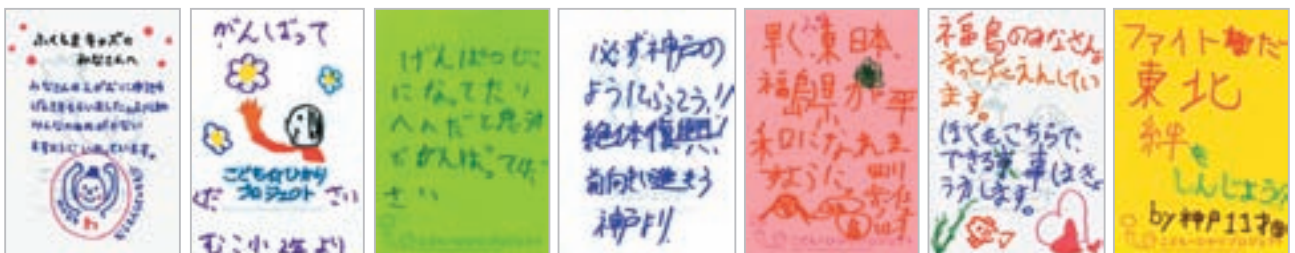
史子さんのデザイン、美術館系プロジェクトメンバーの監修により、ロゴマークができました。被災地のメンバーの希望で、色は暖色系に。



蝶のような、ひかりのような、なんだろうに触れてみよう！というコンセプトで作りました。もっと、元気になるぞー！！って感じですかね。(伊従史子)



みんなの福島展 メッセージ交流広場のようす(上:兵庫県立人と自然の博物館)。兵庫で集まったメッセージを福島で展示しました(下左:郡山市ふれあい科学館スペースパーク、下右:福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館)



みんなの福島展で寄せられたメッセージ(兵庫県立人と自然の博物館)

メモ帳ができました

ロゴマークのデビューを記念して、(株)アム・プロモーションさんが、メモ帳をつくってくださいました。第1作はモノトーン、第2作はカラーで4種です。

メモ帳は、「みんなの福島展」のメッセージ交流広場で大活躍しました。

キャラクターが生まれました

「みんなの福島展」のチラシに、「福ちゃん」が登場しました。ロゴ、メ

モ帳と同じく、伊従史子さんのデザインです。福ちゃんは、大きくなって、展示室の案内サインとしても、活躍しました。

応援基金を開設しました

広く支援金を募るため、基金口座を開設し、一口500円の募金を開始しました。

こどもひかりプロジェクト応援基金

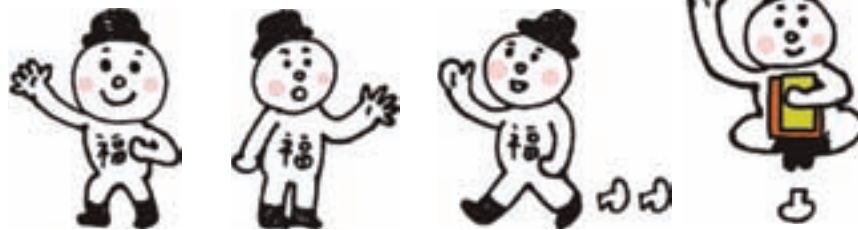
ゆうちょ銀行

記号番号:00980-1-195311

〇九九店(店番099)・当座預金・口座番号0195311

雑誌掲載・出講など

清水文美, 2012. 小さなつながりから、ひとはくで「みんなの福島展」こども☆ひかりプロジェクト:毛細血管の端っこだまで. Musee, 99: 37.



福ちゃんは、餅は餅でも、凍み餅(しみもち)なのです。

凍み餅とは福島の農村で保存食として作られてきた伝統食品です。いまでも毎年農家の軒先に凍み餅を始めいろいろなものが吊るされますが、原発によりその風物詩は消えている、とのことでした。わたしは餅好きなので、福島の物産を調べていたらおのずと目に入ったのがきっかけです。(伊従史子)

収支

文字通り、ゼロからのスタートでした。プロジェクトメンバーの自己資金、現物寄付、連携先の経費で動いており、お金の出入りは、ごくわずかでした。

(単位:円)

	科目	金額	備考
収入		0	
支出	消耗品費	473	事務用品
収支差額		△473	
前期繰越		0	
次期繰越		△473	

※ 応援基金は、別途。



兵庫からのメッセージを見た福島で寄せられたメッセージ (郡山市ふれあい科学館スペースパーク・福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館)

TIMELINE

2012年

- 3月14日 こどもひかりプロジェクト応援基金開設
- 3月3日～4月8日 みんなの福島展
- 1月29日 びじゅつ部ミーティング at 博多? ?名 ロゴの決定
- 1月13日 メモ帳 ver.1 完成

2011年

- 12月11日 スタートミーティング at 明石市立天文科学館 10名 事例学習、方向性の共有
- 11月27日 グループメール運用開始
- 11月16日 オフィシャルサイト開設
- 11月11日 任意団体設立(規約の発効)
- 9月20日 設立趣旨書作成、震災半年経過後、呼びかけ拡大
- 8月3日 少しずつ呼びかけ開始
- 6月29日 プロジェクト発案
- 3月11日 東日本大震災



こどもひかりプロジェクトの1年 2011
2011年度(平成23年度)事業報告書
2012年3月31日